

7 市有財産の状況

平成22年3月31日現在(対前年度比)

土地

(公園や施設の敷地)



456,629.43㎡
(+5,236.06㎡)

建物

(学校や公民館など)



160,483.96㎡
(+305.78㎡)

物権

(地上権)



1,303.81㎡
(±0㎡)

出資による権利

(財国分寺市健康福祉サー
ビス協会出えん金など)



5億5,790万円
(±0万円)

物品

(1件100万円以上の
自動車等備品類)



291点
(-10点)

債権

(国分寺市土地開発公社貸付金、財国分
寺市シルバー人材センター貸付金ほか)



43億8,846万円
(+9,249万円)

基金

(財政調整基金など)



72億5,310万円
(-9億3,259万円)

8 総務省方式改訂モデルによる財務書類4表の公表について

市では、平成11年度決算から「貸借対照表」を、12年度決算から「行政コスト計算書」を総務省方式で作成してきました。

この間、国では平成18年8月に発生主義の活用および複式簿記の考え方の導入を図り、新たなモデルによる財務書類を21年度までに作成し、公会計の整備の推進に取り組むことを求めました。

これを受け、本市では平成20年度決算から総務省方式改訂モデルによる財務書類4表（貸借対照表・行政コスト計算書・純資産変動計算書・資金収支計算書）を作成しました。

新たなモデルによる財務書類では、資産・債務を適正に把握するために、より細やかな情報を提供するとともに、市が連携協力して行政サービスを実施

している関係団体等を含めた連結ベースでの財政状況を把握することが可能となります。

財務書類4表については、現在オープナー（市役所附属棟）や市ホームページで公表していますが、より分かりやすいものとするように、他団体との比較等を加えて改訂し、3月ごろ再度お知らせできるよう進めます。